

瑞穂町 ワクチンチーム & 町議会

町では5月8日から新型コロナワクチンの接種が進められています。今回は、その重要な役割を担う町担当職員の皆さんの特集です。

今年1月、新型コロナワクチン接種事業を専門とする職員が配置されました。その後、メンバーを増員。ワクチンチームは現在7名体制となって、新型コロナウイルスから町民を守るために日々奮闘しています。

※アンケートをインタビュー形式に編集しています。Q&Aは、7月中旬現在の内容です。



2月16日に行われた接種のシミュレーション

町の医師会の先生方、

看護師の皆さん、

そして住民の皆さんの協力に感謝。

Qこれまで大変だったことを教えてください。

- 全住民を対象にした予防接種は経験がなく、何から準備していいのか分からず、手探りでスタートだったことです。
- 当初、消耗品で必要なものも数量も不明で：予算の積算は大変でした。
- 参考事例がなく、ゴールを探しながら走っている感じでした。
- 国の方針や制度が急きょ変更された時の対応は：大変でした。

— 事務作業をしながら、集団接種会場での現場対応や医療機関からの問い合わせ、調整など：日々奔走しています。

— 日常の業務をしながら、高齢者施設での接種を早期に開始するため、短時間で町内の各施設と調整した時が特に忙しかったです。

Qワクチン接種で工夫された点がありますか。

- 集団接種会場の動線や運営方法です。
- 接種者が移動するのではなく、問診する

医師と接種する看護師が各ブースに移動することで、効率良く接種が行えるようになりました。

— 集団接種に向けて2月に町民会館でシミュレーションを実施（右写真）して、参加者からアンケートで意見をたくさん頂き、それを会場運営に反映しています。

— 急なキャンセルがあってもワクチンロスにならないように別の方の接種につなげるなど、柔軟な対応ができるようにしました。



福祉部長
福島 由子さん
客観的に事業の進捗を管理するよう努めました。



健康課長
工藤 洋介さん
手探りのスタートでした。



健康課ワクチン接種事業担当主幹
水村 探太郎さん
医師会の先生方の協力に感謝です。



健康係長
生田目 勝さん
当初、消耗品の物も数も不明で・・・予算の積算は大変でした。



健康課主任
榎本 康弘さん
日々奔走しています。



健康課主任
鈴木 隆太さん
ゴールを探しながら走っている状態でした。



健康課主事
宮野 裕城さん
マスクの着用による熱中症に気を付けてください。

— 大規模接種会場や職場での接種をされる方のために接種券を先行発送しました。

— 目まぐるしいほど状況が変わる中で、他自治体の情報も集めながら、客観的に事業の進捗を管理するように努めてきました。

Q瑞穂町の現在の状況はどうか。

- 現在までのところ順調です。町の医師会や町民の皆さまのご理解とご協力のたまものです。
- 週に2500回以上の接種ができています。
- 7月中には高齢者施設を含めた高齢者の2回目の接種が完了する見込みです。
- 施設での接種や移動困難な方には巡回接種もしています。
- 職員一丸となって取り組んでいます。

Q何かPRしたい点がありますか。

- 人口3万人規模で、病院や診療所での個別接種と集団接種を併用できている自治体は全国的に少ないと思います。
- 町の医師会の先生方や看護師の皆さんが進んで協力してくれました。本当に感謝です。

Q町民の皆さまにお知らせしたいことがありますか。

- ワクチン接種を終えても基本的な感染対策の継続をお願いします。
- マスク着用による熱中症のリスクが高まる季節になります。屋外で人と十分な距離がある時はマスクを外すなどをお願いします。
- 接種スケジュールが急きょ変更になる場合があります。変更点など、随時ホームページでお知らせしますので、ご確認をお願いします。
- コロナ禍ではありますが、がん検診、生活習慣病などの健診、お子さまの予防接種、定期健診は機会を逸することなくご参加ください。

ご協力ありがとうございました。